

聖霊降臨後第3主日特禱（特定8）

主よ、主の家族である教会を、揺るぎない愛のうちにお守りください。どうか主の恵みによってまことの教えを大胆に宣べ伝え、あなたのいつくしみ深い正義のために仕えることができますように。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 列王記上 19章15－16, 19－21節

19:15 主はエリヤに言われた。「来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かいなさい。そこに着いたら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王としなさい。16 また、ニムシの子イエフに油を注いで、イスラエルの王としなさい。さらに、アベル・メホラ出身のシャファトの子エリシャに油を注ぎ、あなたに代わる預言者としなさい。

19 エリヤはそこを去って行くと、シャファトの子エリシャがいるのを見かけた。エリシャは十二軛の牛を前に畑を耕していたが、彼は十二番目の牛と共にいた。エリヤはそのそばを通り過ぎるとき、自分の外套をエリシャに投げかけた。20 するとエリシャは、牛を打ち捨て、エリヤの後を追、「どうか父と母に別れの口づけをさせてください。それからあなたに従います」と言った。エリヤは、「行って来なさい。私があるあなたに何をしたいのか」と答えた。21 エリシャはエリヤを残して帰ると、一軛の牛を引いて来て屠り、牛の軛を燃やしてその肉を調理し、人々に振る舞って食べさせた。それから、直ちにエリヤに従い、彼に仕えた。

詩 編 第16編

- 1 神よ、私を守ってください || 私はあなたのもとに逃れました
- 2 私は主に言います。「あなたこそ、わが主 || あなたのほかに幸いはありません」
- 3 この地の聖なる者らに || 私の喜ぶ力ある者すべてに言う
- 4 「他の神を追う者は苦しみを増すがよい || 私は、血を注ぐ彼らの供え物を献げず、その名も口にしない」
- 5 主はわが受くべき分、わが杯 || あなたこそ、私のくじを決める方
- 6 測り縄は麗しい地に落ち || 私は輝かしい相続地を受けました
- 7 諭してくださる主をたたえよう || 夜ごと、はらわたが私を戒める
- 8 私は絶えず目の前に主を置く || 主が右におられ、私は揺らぐことはない
- 9 それゆえ、私の心は喜び、心の底から喜び躍り || この身もまた安らかに住まう
- 10 あなたは私の魂を陰府に捨て置かず || あなたに忠実な者に滅びの穴を見せず
- 11 命の道を私に示されます || 御前には満ち溢れる喜びが、右の手には麗しさが永遠にありますように

使徒書 ガラテヤの信徒への手紙5章1, 13-25節

5:1 この自由を得させるために、キリストは私たちが解放してくださいました。ですから、しっかりと立って、二度と奴隷の轡につながれてはなりません。

13 きょうだいたち、あなたがたは自由へと召されたのです。ただ、この自由を、肉を満足させる機会とせず、愛をもって互いに仕えなさい。14 なぜなら律法全体が、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句において全うされているからです。15 互いにかみ合ったり、食い合ったりして、互いに滅ぼされないように気をつけなさい。

16 私は言います。霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。17 肉の望むことは霊に反し、霊の望むことは肉に反するからです。この二つは互いに対立し、そのため、あなたがたは自分のしたいと思うことができないのです。18 霊に導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。19 肉の行いは明白です。淫行、汚れ、放蕩、20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、嫉妬、怒り、利己心、分裂、分派、21 妬み、泥酔、馬鹿騒ぎ、その他このたぐいのものです。以前も言ったように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはありません。22 これに対し、霊の結ぶ実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、ガラ 5:23 柔和、節制であり、これらを否定する律法はありません。24 キリスト・イエスに属する者は、肉を情欲と欲望と共に十字架につけたのです。25 私たちは霊によって生きているのですから、霊によってまた進もうではありませんか。

福音書 ルカによる福音書 9章51-62節

9:51 天に上げられる日が満ちたので、イエスはエルサレムに向かうことを決意された。52 それで、先に使いの者たちをお遣わしになった。彼らは出かけて行って、イエスのために準備を整えようと、サマリア人の村に入った。53 しかし、サマリア人はイエスを歓迎しなかった。イエスがエルサレムに向かって進んでおられたからである。54 弟子のヤコブとヨハネはこれを見て言った。「主よ、お望みなら、天から火を下し、彼らを焼き滅ぼすように言いませんか。」55 イエスは振り向いて、二人をお叱りになった。56 そして、一行は別の村に行った。

57 彼らが道を進んで行くと、ある人がイエスに、「あなたがお出でになる所なら、どこへでも従って参ります」と言った。58 イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」59 そして別の人に、「私に従いなさい」と言われたが、その人は、「主よ、まず、父を葬りに行かせてください」と言った。60 イエスは言われた。「死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。しかし、あなたは行って、神の国を告げ知らせなさい。」61 また別の人も言った。「主よ、あなたに従います。しかし、まず私の家の者たちに別れを告げることを許してください。」62 イエスはその人に、「鋤に手をかけてから、後ろを振り返る者は、神の国にふさわしくない」と言われた。